

最大の希望 再臨 second coming



聖書の中にある素晴らしい真理の一つは、人間の救いを完成するためにキリストがもう一度地上にお出でになるという「再臨」の約束です。「キリストも、多くの人の罪を負うためにただ一度身を献げられた後、二度目には、罪を負うためではなく、御自分を待望している人たちに、救いをもたらすために現れてくださるのです」（ヘブライ人への手紙9：28）。

キリストの十字架によって、救いの道が開かれ、キリストが昇天なさった時、それを見送った弟子たちに天の使いは「ガリラヤの人たち、なぜ天を見上げて立っているのか。あなたがたから離れて天に上げられたイエスは、天に行かれるのをあなたがたが見たのと同じ有様で、またおいでになる。」（使徒言行録1：11）と言いました。また、来るというキリストの再臨の約束は、弟子たちの未来を明るく照らし、彼らの心を喜びと希望で満たし、どんな悲しみや試練の時にもその心を支えたのでした。

罪を悔い改め、キリストを信じた人は、義と認められ、永遠の命に入ることが出来ます。私たちのために限りない犠牲と苦しみを負われたキリストにお会いする再臨は、キリストの愛を知った者にとって、最大の希望と喜びの時なのです。

再臨の時

▶テサロニケの信徒への手紙一 4：13～17

兄弟たち、既に眠りについた人たちについては、希望を持たないほかの人々のように嘆き悲しまないために、ぜひ次のことを知っておいてほしい。イエスが死んで復活されたと、わたしたちは信じています。神は同じように、イエスを信じて眠りについた人たちをも、イエスと一緒に導き出してくださいます。主の言葉に基づいて次のことを伝えます。主が来られる日まで生き残るわたしたちが、眠りについた人たちより先になることは、決してありません。

すなわち、合図の号令がかかり、大天使の声が聞こえて、神のラッパが鳴り響くと、主御自身が天から降って来られます。すると、キリストに結ばれて死んだ人たちが、まず最初に復活し、それから、わたしたち生き残っている者（の肉体）が、（もはや朽ちることのない栄光の体に変えられ※1、）空中で主と出会うために、彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられます。

このようにして、わたしたちはいつまでも主と共にいることとなります。

※1：栄化

コリントの信徒への手紙一 15：51～53

わたしはあなたがたに神秘を告げます。わたしたちは皆、眠りにつくわけではありません。わたしたちは皆、今とは異なる状態に変えられます。最後のラッパが鳴るとともに、たちまち、一瞬のうちにです。ラッパが鳴ると、（一瞬のうちに）死者は復活して朽ちない者とされ、わたしたちは変えられます（→栄化）。この朽ちるべきものが朽ちないものを着、この死ぬべきものが死なないものを必ず着ることとなります。

▶フィリピの信徒への手紙 3 : 20~21

しかし、わたしたちの本国は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主として来られるのを、わたしたちは待っています。キリストは、万物を支配下に置くことさえできる力によって、わたしたちの卑しい体を、御自分の栄光ある体と同じ形に変えてくださるのです。

マタイによる福音書 16 : 27

人の子は、父の栄光に輝いて天使たちと共に来るが、そのとき、それぞれの行いに応じて（正しい）報い（をお与えにな）るのである。

▶マタイによる福音書 25 : 31~41

「人の子は、栄光に輝いて天使たちを皆従えて来るとき、その栄光の座に着く。そして、すべての国の民がその前に集められると、（夕方に）羊飼いが羊と山羊を分けるように、彼らをより分け、羊を右に、山羊を左に置く。そこで、王は右側にいる人たちに言う。『さあ、わたしの父に祝福された人たち、天地創造の時からお前たちのために用意されている（神の）国を受け継ぎなさい。お前たちは、わたしが①飢えていたときに食べさせ、②のどが渴いていたときに飲ませ、③旅をしていたときに宿を貸し、④裸のときに着せ、⑤病気のときに見舞い、⑥牢にいたときに訪ねてくれたからだ。』すると、正しい人たちが王に答える。『主よ、いつわたしたちは、飢えておられるのを見て食べ物差し上げ、のどが渴いておられるのを見て飲み物を差し上げたのでしょうか。いつ、旅をしておられるのを見てお宿を貸し、裸でおられるのを見てお着せしたのでしょうか。』

いつ、病気をなさったり、牢におられたりするのを見て、お訪ねしたのでしょうか。』

そこで、王は答える。『はっきり言うておく。わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。』それから、王は左側にいる人たちにも言う。『呪われた者ども、わたしから離れ去り、悪魔とその手下のために用意してある永遠の火に入れ。

→罪を悔い改めた人々が天国に迎えられ、義の冠をいただく喜びに入ろうとしている時、神の恵みを最後まで受け入れなかったすべての悪人たちは永遠の滅びに入り、完全に滅ぼされるのです。

▶ガラテヤの信徒への手紙 6 : 7

思い違いをしてもいけません。神は、人から侮られることはありません。人は、自分の蒔いたものを、また刈り取るようになるのです。

▶自由意志を与えられた人間は、自分の一切の行動についての責任を取る日があるのです。

【一言】知恵者の心は右にあり。→賢者の心は右へ、愚者の心は左へ（コヘレトの言葉 10 : 2）。

再臨の様子

▶再臨は、すべての人に分かる。

1. マタイによる福音書 24 : 27

稲妻が東から西へひらめき渡るように、人の子も来るからである。

2. ヨハネの黙示録 1 : 7

見よ、その方が雲に乗って来られる。すべての人の目が彼を仰ぎ見る、／ことに、彼を突き刺した者どもは。地上の諸民族は皆、彼のために嘆き悲しむ。然り、アーメン。

3. マタイによる福音書 24 : 31

人の子は、大きなラッパの音を合図にその天使たちを遣わす。天使たちは、天の果てから果てまで、彼によって選ばれた人たちを四方から呼び集める。

▶**栄光の内に来る** マタイによる福音書 16 : 27、24 : 30

▶**自然界の変動** ペトロの手紙二 03 : 10、ヨハネの黙示録 6 : 14